

各 位



兼松、運転中のながらスマホを自動ブロックする
法人向けアプリ「KG monap」を提供開始

兼松株式会社（以下、「兼松」）は、運送会社やタクシー会社など、業務で車両を使用する法人を主な対象に、運転中のスマートフォン操作を自動的に制限する安全運転支援アプリ「KG monap（ケージー・モナップ）」の提供を開始しました。本サービスは、「ながら運転」による事故やヒヤリ・ハットの未然防止を推進し、企業の安全管理体制の強化を支援するものです。なお、本サービスは、Android 10 以降の端末に対応しております。



KG monap 専用サイト：<https://bc3.kanematsu.co.jp/kgmonap>

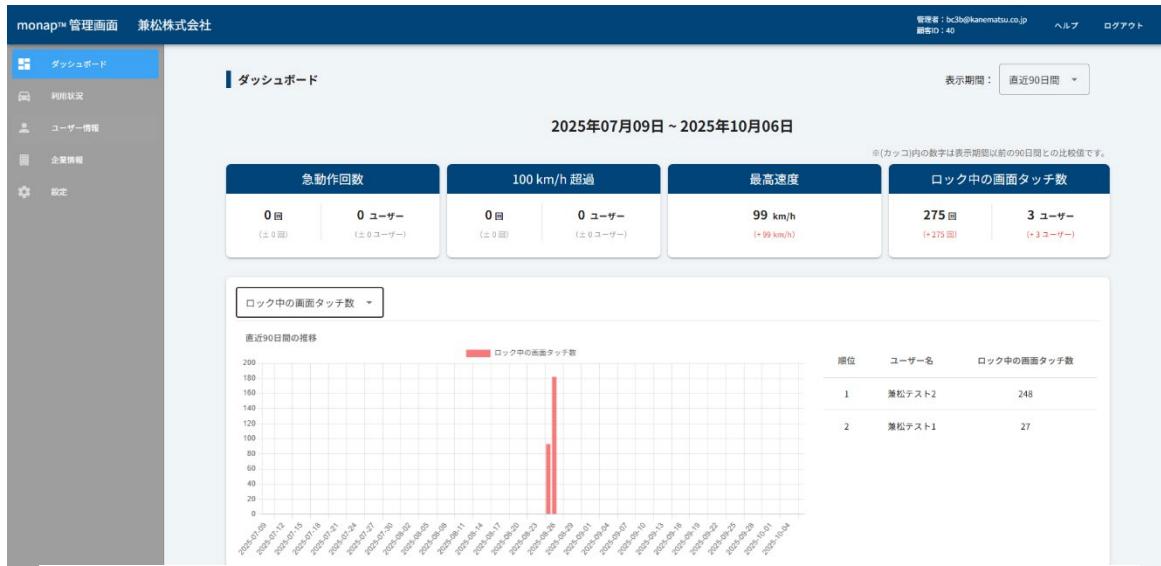
＜背景＞

警視庁の統計※1によると、運転中のスマートフォン注視など、携帯電話の使用等に起因する交通事故は年々増加傾向にあり、2024年中の死亡・重傷事故は136件と、2020年の66件から2倍以上に増えています。また、運転中に携帯電話等を使用していた場合の死亡事故率は、使用なしと比較して約4倍と、高い危険性が叫ばれています。このような状況から、多くの企業はドライバーへの指導や注意喚起などを強化する一方、「ながら運転」は個人の注意力や意識に依存する側面が大きく、より継続的かつ実効性のある対策が求められていました。

※1 出典：警視庁ウェブサイト（[やめよう！運転中のスマートフォン・携帯電話等使用](#)）

＜特長＞

KG monapは、ドライバーの判断に委ねることなく、運転中のスマートフォン操作を「仕組み」で制御するアプリです。特長として、管理画面で各車の利用状況（ロック中の画面タップ回数、急制動・発信の回数等）をモニタリングできる点や、企業ごとの安全ポリシーに合わせた柔軟な運用が可能である点が挙げられます。さらに本サービスは、ドライバーの運転行動の傾向を把握し、スコアリングやフィードバックを通じて個々の安全意識の向上を促すことができます。



管理画面のダッシュボード。ロックされた回数等の状況をモニタリングできる

<機能>

KG monap は、ドライバーが運転を開始すると、GPS や加速度情報をもとに走行状態を検知し、SNS や動画、ブラウザなど不要なアプリの操作を自動で制限します。一方、動画などのストリーミング系アプリは走行中に自動停止され、操作や視聴はできません。

主な機能

- 運転開始を自動検知し、スマートフォンの操作を自動で制限
- 運転中は着信音をミュートし、通話履歴のみを記録
(緊急連絡先など、指定した番号のみ着信を許可する設定が可能)
- 運転前に起動した地図・ナビアプリは運転中も閲覧可能
- 管理者がクラウド上から利用状況を一元管理でき、リモートで設定変更が可能



<今後の展望>

今後は、デジタルタコグラフを販売しているグループ会社のネットワークや、既存のトラックの呼び出し・バース予約システム「KG TruckCall」を導入いただいている企業を中心に、既存の安全管理の取組みを補完する形で導入を推奨していきます。

さらに、2026 年 4 月より自転車の交通違反に対する罰則が強化されたことも踏まえ、自転車利用時の活用や、製造業・物流業をはじめとした工場・倉庫内における歩行中のスマートフォン操作（歩きスマホ）の抑止に向けた展開も視野に入れています。工場などの現場では、歩きスマホが転倒や設備接触などの事故につながるケースもあり、安全確保が重要な課題です。

兼松は、安全対策ソリューションである KG monap の導入を推進し、皆が安全に・安心して暮らせる社会の実現を目指して参ります。

以上

【お問い合わせ先】

- ◆ サービスに関するお問い合わせ： <https://bc3.kanematsu.co.jp/kgmonap>
- ◆ プレスリリースに関して： 兼松株式会社 広報室
電話：03-6747-5000 <https://www.kanematsu.co.jp/inquiry/>